取扱説明書

PACKWARMER

パックウォーマー

CL－15

（医療機器届出番号 13B2X00081000002） EMC 適合

＊このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただくとともに本製品を使用する方には必要により安全教育を実施してください。

＊「取扱説明書」は
・1部を現場用として、常に参照できる状態を保ってください。
・1部を保存用として、大切に保管してください。

05-040⑥MZ

もくじ

安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
各部の名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
ご使用になる前に ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
　環境及び設置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
　電源・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
　禁忌・禁止・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
操作方法について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
　準備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
　温度設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
　週間タイマーの使用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
　ご使用後・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
エスパックのご使用法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
お手入れの仕方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
　槽内の水の取り替え・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
　清掃・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
このようなときには ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
機器の保守・点検について ・・・・・・・・・・・・・・・ 18
保証とアフターサービス ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
医用電気機器の使用上
　(安全及び危険防止)の注意事項 ・・・・・・・・ 21

用途

本製品は、エスパック（ホットパック）を温めるための加温装置です。

特長

- **週間タイマーを標準装備。**
  曜日毎の使用時間に合わせた加温設定が可能です。
- **安全面に配慮。**
  サーモスタット，空焚防止装置，漏電ブレーカー，加温表示ランプを標準装備してあります。

医療機器を安心して使っていただくために保守点検を適切に実施していただくことが必要です。

安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、各注意事項をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

注意事項を次のように区分しています。

⚠危険 ・・・ 取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負うことに至るもの

⚠警告 ・・・ 取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの

⚠注意 ・・・ 取り扱いを誤ると、傷害または物的損害の発生が想定されるもの

絵表示の意味

禁　止：してはいけない「禁止」内容のものです。

強　制：必ず実行していただく「指示」内容のものです。

設置・電源

⚠ 警告

移動後は、必ずキャスターをロックする
ロックしていないと突然装置が動き、思わぬけがややけどの恐れがあります。

電源コード及び、プラグの改造等は、絶対に行わない
感電の恐れがあります。

ぬれた手でプラグの抜き差しはしない
感電の恐れがあります。

⚠ 注意

湯をためたまま移動しない
キャスターが破損したり、移動操作が困難になり、思わぬ事故につながる恐れがあります。

移動時に浴槽をぶつけない
破損する恐れがあります。

電源電圧はAC100V±5%の範囲内で使用する
範囲外の場合には機器の故障及び誤作動の原因となります。

電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く
コードを引っ張るとコードが傷み、感電や火災の原因になります。

点検時は電源を切る
電源設備の点検や工事を行っているときには、本機の使用は避けて電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。本機を破損する恐れがあります。

使用中

⚠ 警告

エスパックのご使用前に必ず手で温度を確認
熱いとやけどをする恐れがあります。

⚠ 注意

エスパックを知覚異常のある患者に使用する場合は注意する
やけどをする恐れがあります。

使用中は水位を確認する
パックを使用するにつれて槽内の水量が徐々に減ってきますので、途中で水(湯)を適量補給してください。

槽内に包帯やばん創こう等を落としたときは、すぐに拾い上げる
排水部の目詰まりの原因となります。

エスパックの帆布が破損し、中のベントナイトがはみ出したら破棄
槽内の錆びの発生や、排水部の目詰まりの原因となります。

パックは直接槽の中に入れない
仕切りカゴを使用して加温してください。直接では破損する恐れがあります。

槽のふたの取り扱いには注意する
ふたを閉めるときに指を挟んでけがをする恐れがあります。

ご使用後

⚠ 注意

タイマーを使用中は槽内の水(湯)は十分に補給してふたをしておく
本製品には空焚き防止機能がついていますが、設定を誤って万一休日等に作動してしまうと水（湯）が減りますのでご注意ください。

エスパックを塩素系消毒剤で除菌するときは、濃度及び浸けおき時間に注意
濃度が濃いと布地を傷めます。浸けおき後は水でよく洗ってください。(5%漂白剤を用いた場合、使用量の目安として、1ℓ の水に対し 5～10 ccの割合で加えた濃さの液で 30 分程度)

清掃の際、操作スイッチにホース等で水をかけない
水がかかると電気系統の故障の原因になります。

清掃時には電源プラグを抜く
故障や感電の恐れがあります。

槽内の水は必ず一週間に一度は交換する
水が汚染して雑菌等が繁殖する恐れがあります。

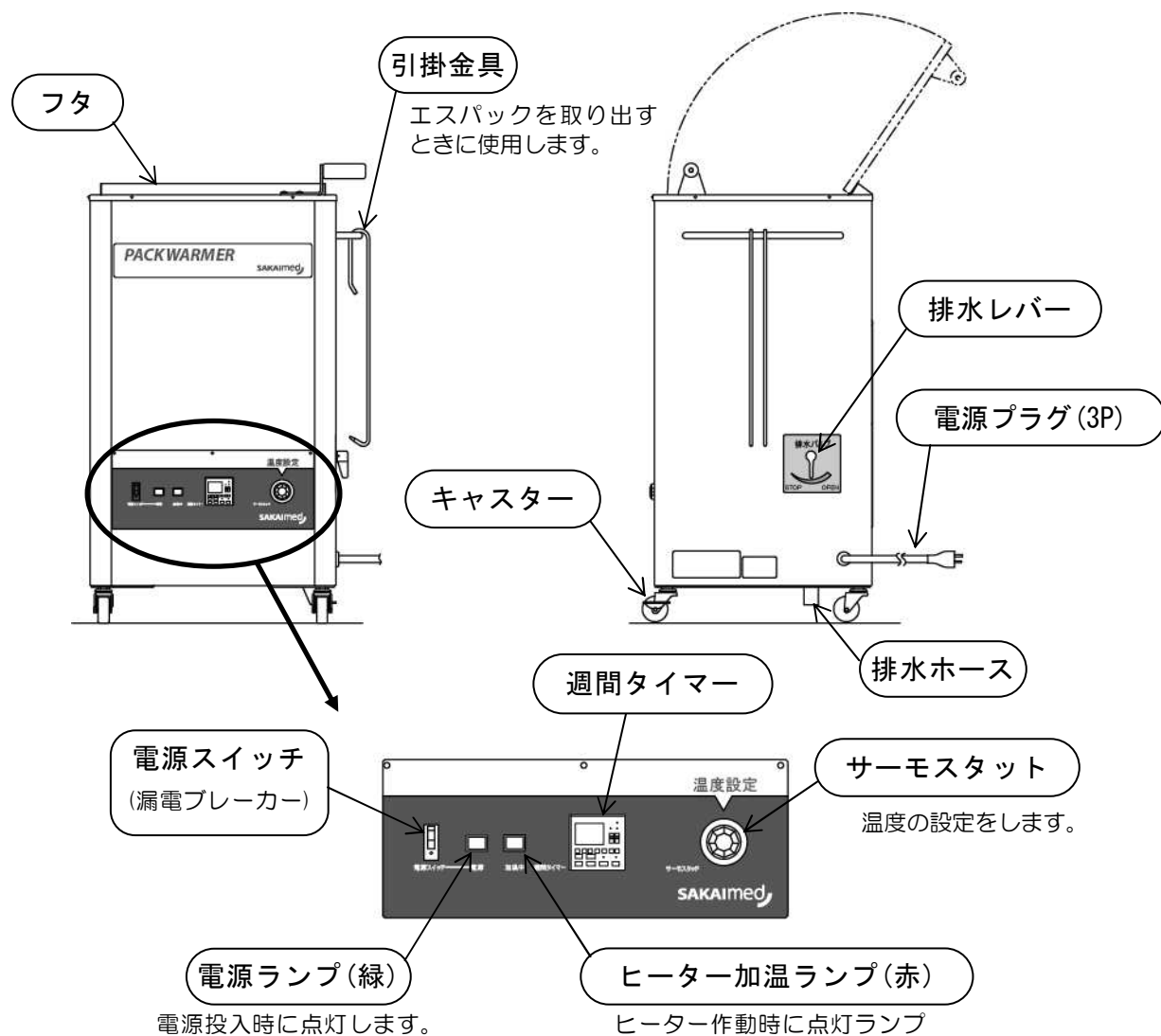
排水は槽内のお湯が十分冷めてから行う
熱いまま排水すると、配管が破損する恐れがあります。

使用後は、必ず換気を行い室内の湿度を下げる
湿気による錆やかびなどの発生を抑えます。

使用後は、必ず製品の電源を切る
事故を防止します。また、タイマー運転をしないときは電源プラグも抜いてください。

機器の改造はしない
故障の原因や事故につながる恐れがあります。

納入時のビニールカバーは、破棄する
製品にかけて使用すると、錆などが発生しやすくなるので、絶対に使用しないでください。

各部の名称

✸ 構成

- 本　体　…１台
- 仕切りカゴ　…１個
- 引っ掛け金具　…２本

ご使用になる前に

ご使用前に本製品についてP.18の**始業点検項目**にもとづき、始業点検を実施してください。またこれ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに、電源を切って最寄りの営業所にご連絡ください。

破損、異常を感じたままのご使用は、危険ですから絶対におやめください。

環境及び設置

本製品には4個のキャスターが付いています。所定の位置に据え付ける場合は、キャスターのロックをかけてください。また、下記のような場所でのご使用はさけてください。

- 周囲温度が－10℃～＋50℃の範囲をこえるところ。
- 湿気，ほこり，ガスの多いところ。
- 振動，衝撃の多いところ。
- 雨，日光の直接あたるところ。

警告　・移動後は、必ずキャスターをロックする

電源

必ず専用のAC100Ｖ15Ａアース付コンセントを使用し、確実にアースしてください。その際、アースが正常かどうか常に確認してください。

警告　・電源コード及び、プラグの改造等は、絶対に行わない
・ぬれた手でプラグの抜き差しはしない

注意　電源設備の点検や工事を行なうときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

禁忌・禁止

適用対象

以下の症状を示す人、又は診断を受けた人への使用はやめてください。

- 重篤な抹消神経障害、急性の炎症及び外傷、悪性腫瘍及び肉種、潰瘍がある場合、高血圧症で重症の場合、高熱時及び衰弱時
- その他医師が不適当と判断した人

操作方法について

準備

1　排水バルブが閉じていることを確認します。
2　槽内に水(湯)を入れます。適正水位は、仕切りカゴの仕切りが隠れるくらいの所です。
3　エスパックを入れます。新しいエスパックのお取り扱いについては、必ずエスパックのご使用方法（P.14）をお読みください。
4　電源スイッチが「切」になっていることを確認した後、電源プラグを AC100V15A アース付コンセントに差し込みます。

温度設定

1　サーモスタットの設定温度を 80℃に合わせて電源スイッチを「入」にしてください。緑と赤の両ランプが点灯し、槽内の水(湯)が加温されます。
2　加温されて槽内の温度が約 80℃になると、サーモスタットが作動してヒーターへの通電が止まり、赤ランプが消えます。槽内の温度が下がると、サーモスタットが作動してヒーターに通電され、再び赤ランプが点灯します。サーモスタットは、最高 80℃までの範囲で温度設定が出来ます。

参考　水位が下がりますと空焚防止装置が作動して、自動的に加温をストップします。この場合は赤ランプが消えて緑ランプだけが点灯しています。外見はサーモスタットが作動して加温が止まっている場合と同じですが、水(湯)を補給しない限りヒーターには通電しません。

週間タイマーの使用

詳しくは、付属の全電子式タイムスイッチ取扱説明書をお読みください。

● 各部の名称と働き

①液晶表示部

現在時刻、タイマーのモード状況や設定時にその内容を表示します。

②曜日設定ボタン

現在の曜日や、タイマー設定時の曜日設定に使用します。

③取消ボタン

プログラムを取り消す場合や、変更時に使用します。

④呼出ボタン

プログラムの確認時や変更時に、プログラムを呼び出します。

⑤モードボタン

タイマーの、動作モードを選択するときに使用します。

通常：タイマーを使用する通常の運転状態です。

(モニター)タイマーの動作(ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ)が確認できます。

時計：時刻合わせが行えます。

出力：タイマーの動作プログラムの設定が行えます。

休日：設定日を含む向こう１週間分の休日のみ設定が行えます。

⑥電源表示ランプ（緑）

タイマーの電源が入っているとき点灯します。

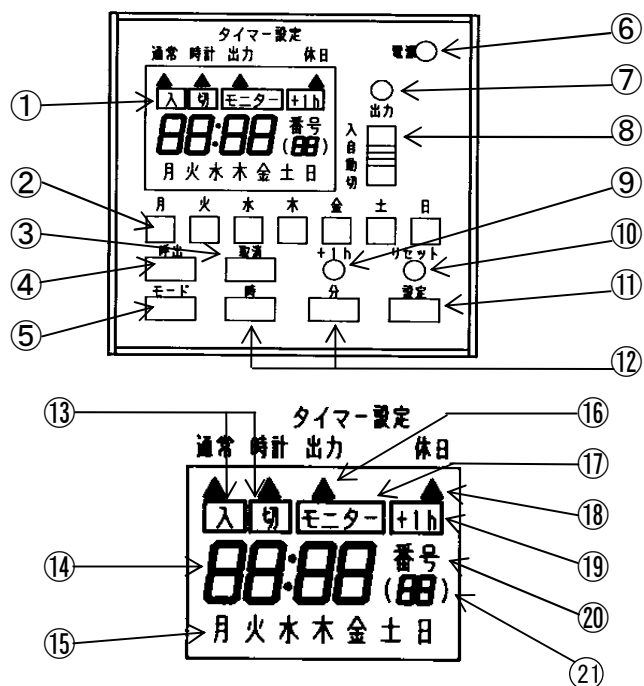
⑦出力表示ランプ（赤）

タイマーの出力が出ているときに点灯します。

⑧手動入ー自動ー切スイッチ

手動で「入」または「切」するか、動作プログラムで「入/切」するかを選択するために使用します。

⑨サマータイム（+1ｈ）ボタン

現在時刻を１時間シフトするときに、使用します。

⑩リセットボタン

設定内容を全て取り消すときに、使用します。

リセットボタンは次の場合以外は使用しないでください。

・おかしな表示が出た場合　・設定した内容を全て取り消したい場合

⑪設定ボタン

タイマー動作プログラムの設定時や、現在時刻の設定時に使用します。

⑫時刻設定ボタン

時刻合わせや、プログラムの動作時間を設定するとき、使用します。

⑬「入」「切」設定表示

タイマーの動作プログラム作成時、動作設定の表示をします。

⑭時刻表示（時、分、秒）

現在時刻や、プログラムの動作の時刻を表示します。また、プログラム作成時は、プログラム番号を秒のところに表示します。

⑮曜日表示

現在曜日や、プログラムの動作する曜日を表示します。

⑯タイマー設定（出力）表示

タイマーの動作プログラム作成時に、表示します。

⑰モニターモード表示

プログラムの動作確認時に、表示します。

⑱休日モード表示

向こう１週間分の休日を設定時に、表示します。

⑲サマータイム（+１ｈ）表示

サマータイム（+１ｈ）設定を使用している時に、表示します。

⑳プログラム番号表示

タイマーの動作プログラム作成時に、表示します。

㉑秒表示/プログラム番号表示

現在時刻表示の時は秒を、タイマー設定の時は、プログラム番号を表示します。

● 動作プログラムの設定方法

月曜日から日曜日まで毎日異なるプログラムが組め、最大 30 プログラムが可能です。

プログラム例１

月曜日は 7：00～12：00、13：00～17：00 運転

火曜日から金曜日は 8：00～12：00、13：00～17：00 運転

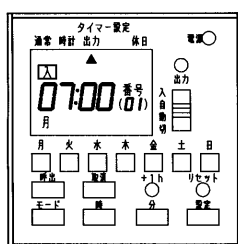
土曜日は 8：00～12：00 まで運転、日曜日は運転休止

日	月	火	水	木	金	土
	A　C	B　C	B　C	B　C	B　C	B

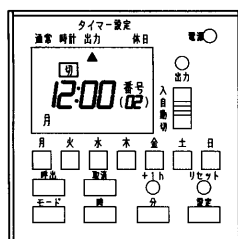
Ｎｏ	入切	時刻	曜日
1	入	７：００	月
2	切	１２：００	月
3	入	８：００	火　水　木　金　土
4	切	１２：００	火　水　木　金　土
5	入	１３：００	月　火　水　木　金
6	切	１７：００	月　火　水　木　金

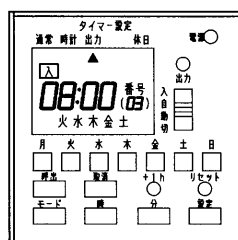
Ａ：７：００～１２：００

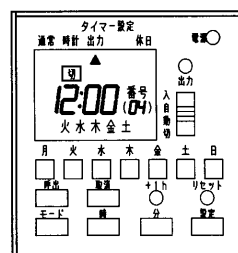
Ｂ：８：００～１２：００

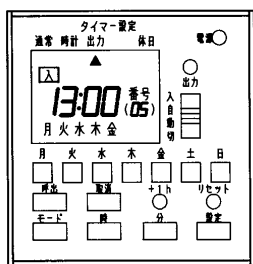
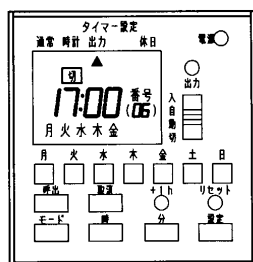
Ｃ：１３：００～１７：００

① モードボタンを押して▲マークを「出力」に合わせる。
「入時刻」の設定画面になります。

② 時ボタンで ７ を選ぶ。

③ 曜日ボタンで 火～日 を消し、設定ボタンを押す。
「切時刻」の設定画面になります。

④ 時ボタンで １２ を選ぶ。

⑤ 曜日ボタンで 火～日 を消し、設定ボタンを押す。
次の「入時刻」の設定画面になります。

⑥ 時ボタンで ８ を選ぶ。

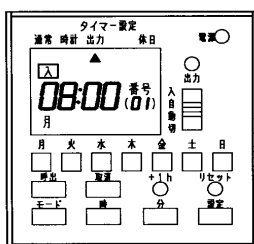
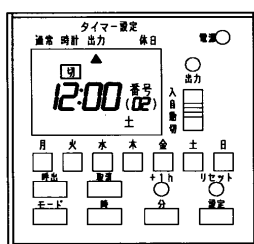
⑦ 曜日ボタンで 月と日 を消し、設定ボタンを押す。
次の「切時刻」の設定画面になります。

⑧ 時ボタンで １２ を選ぶ。

⑨ 曜日ボタンで 月と日 を消し、設定ボタンを押す。
次の「入時刻」の設定画面になります。

⑩ 時ボタンで １３ を選ぶ。
⑪ 曜日ボタンで 土と日 を消し、設定ボタンを押す。
　次の「切時刻」の設定画面になります。

⑫ 時ボタンで １７ を選ぶ。
⑬ 曜日ボタンで 土と日 を消し、設定ボタンを押す。
⑭ 設定が終われば、モードボタンを押して▲マークを
　「通常」の位置に戻す。

プログラム例２

月曜日 8：00～土曜日 12：00 運転

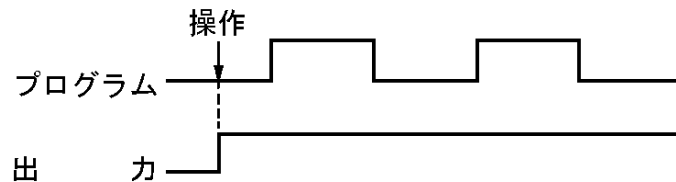
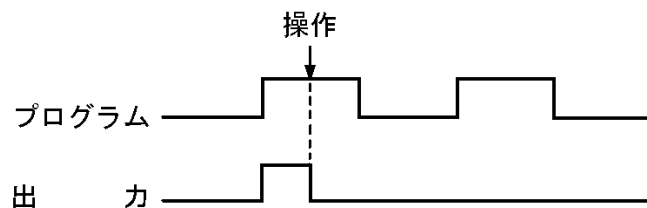
日	月	火	水	木	金	土

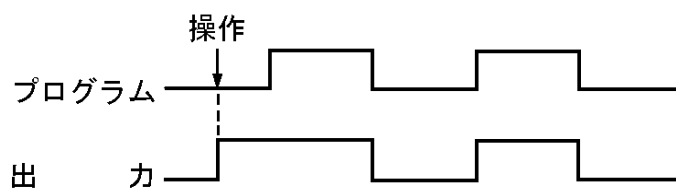
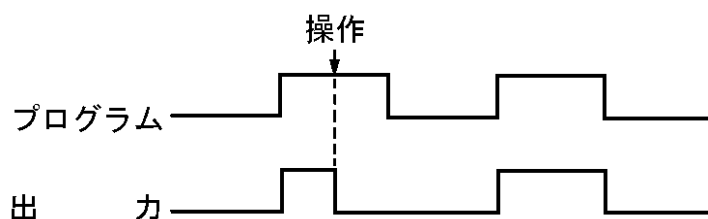
No	入切	時刻	曜日
1	入	8：00	月
2	切	12：00	土

① モードボタンを押して▲マークを「出力」に合わせる。
　「入時刻」の設定画面になります。
② 時ボタンで ８ を選ぶ。
③ 曜日ボタンで 火～日 を消し、設定ボタンを押す。
　「切時刻」の設定画面になります。

④ 時ボタンで １２ を選ぶ。
⑤ 曜日ボタンで 月～金と日 を消し、設定ボタンを押す。
⑥ 設定が終われば、モードボタンを押して▲マークを
　「通常」の位置に戻す。

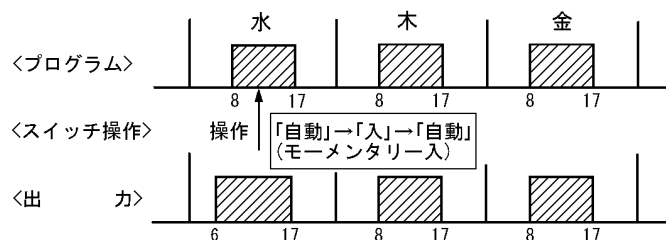
● 手動入ー自動ー切スイッチの操作方法

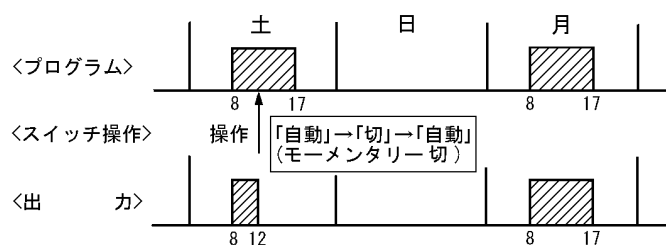
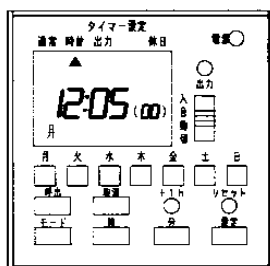
手動入ー自動ー切スイッチで次のように連続動作とモーメンタリー動作をすることができます。

① 連続動作

連続入動作 … プログラムとは無関係に「入」を保持します。
（手動入ー自動ー切スイッチの操作…「入」の位置にします）

連続切動作 … プログラムとは無関係に「切」を保持します。
（手動入ー自動ー切スイッチの操作…「切」の位置にします）

② モーメンタリー動作

モーメンタリー入動作 … 次の“切時刻”まで「入」を保持します。
（手動入ー自動ー切スイッチの操作…一旦「入」の位置にした後、「自動」の位置にします）

モーメンタリー切動作 … 次の“入時刻”まで「切」を保持します。
（手動入ー自動ー切スイッチの操作…一旦「切」の位置にした後、「自動」の位置にします）

モーメンタリー入動作使用例

（水曜日が早朝から始業で、定刻より早く運転を開始する場合）

モーメンタリー切動作使用例

（土曜日に午後から休業で、定刻より早く運転を終了する場合）

● 現在時刻の設定方法

① モードボタンを押して▲マークを「時計」に合わせる。
② 設定ボタンを押して0秒合わせをする。
③ 時、分、曜日ボタンで時刻、曜日を合わせる。
時、分ボタンを押し続けると早送りできます。
④ 設定が終われば、モードボタンを押して▲マークを「通常」の位置に戻す。

ご使用後

週間タイマーを使用しているときは、電源プラグはコンセントにつないだままにしてください。

エスパックのご使用法

1　新しいエスパックは使用する前に水の中に 12 時間くらい浸し、水を十分に吸収してふくらんでから使用（加温）してください。
2　エスパックカバーを広げ、十分に温まったエスパックを引掛金具 2 本で紐 2 本に引掛けて取り出し、水をよく切って、エスパックカバーの片側に載せてください。
3　エスパックカバーを二つ折りにして、マジックファスナーでしっかり止めてください。
4　患部に２～４層の清潔なタオルを当て、エスパックカバーの注意書のある側を上にして使用してください。（患部側にのみ温熱が伝わります）
5　治療中は患者さんに毛布，タオル等の保温具をかけてください。
6　そのまま温湿布を続け、治療時間が終了しましたらエスパックカバーを外します。
7　エスパックは湯の中に戻してください。

参考　エスパックカバーの代わりにタオルを使用される場合は、下記の手順に従って行ってください。

①　清潔な厚地のバスタオルで、よく水を切ったエスパックをくるみます。
②　バスタオルの上から手を当てて、温度を確認してください。熱すぎたり、ぬるすぎる場合はタオルの枚数で温度を調節してください。
③　以後の手順は、上記 **4～7** と同様です。

参考　一度使用したパックは乾くとカチカチになりますが、再び水(湯)に浸けると元の状態に戻ります。効果は全く変わりません。

⚠ **警告**　**使用前に必ず手で温度を確認**

熱いとやけどをする恐れがあります。

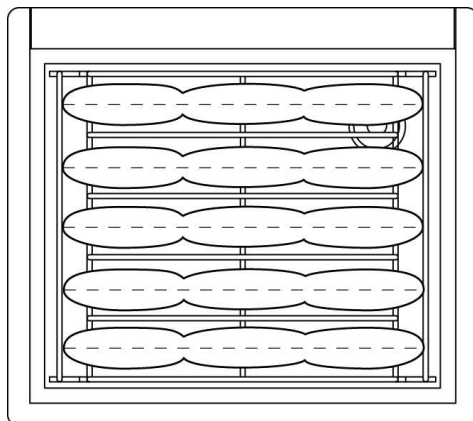
⚠ **注意**　**・知覚異常のある患者に使用する場合はやけどに注意**

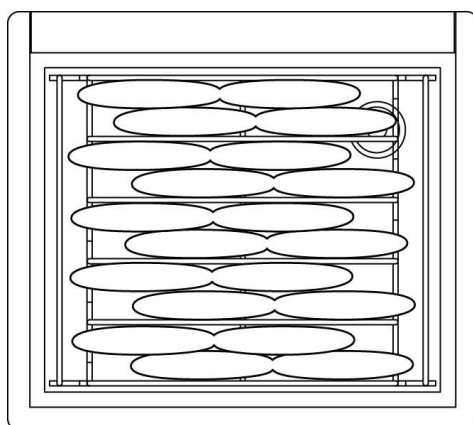
・塩素系消毒剤で除菌するときは、濃度及び浸けおき時間に注意

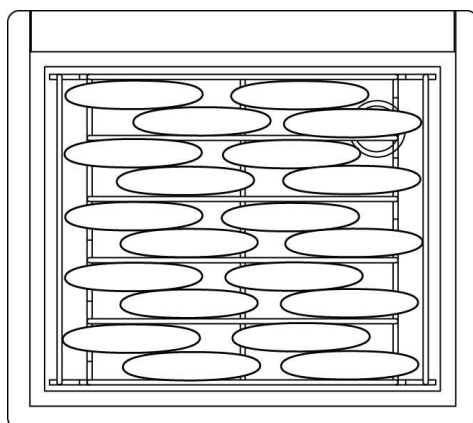
濃度が濃いと布地を傷めます。浸けおき後は水でよく洗ってください。
(5%漂白剤を用いた場合、使用量の目安として、1ℓ の水に対し 5～10 ccの割合で加えた濃さの液で 30 分程度)

エスパックの入れ方

槽内へは以下のようにエスパックを入れることができます。（入れ方は一例です）

●CLS-11・・・5枚

縦向き・2つ折りに入れる

●CLS-12・・・10枚

縦向きに入れる

●CLS-13・・・20枚

縦向きに入れる

膨らんでいない新しいエスパックは外形が大きいため、例のように入いらない場合があります。

お手入れの仕方

槽内の水の取り替え

　ご使用するにつれて槽内の水が汚れてきますので、一週間毎に取り替えてください。その際の水は水道水を使用してください。鉄分を多く含んだ水(井戸水，温泉水等)はもらい錆が発生しますので使用しないでください。

注意　・槽内の水は必ず一週間に一度は交換する
・排水は槽内のお湯が十分冷めてから行う

清掃

1 ステンレス部についた水滴をそのままにしておきますと、湯垢が残り汚くなります。乾いた布で水滴を拭きとってください。
2 槽内にもらい錆（茶褐色）が発生した状態で放置しますと槽に穴があきますので、ステンレス用のクレンザーで磨き取ってください。
3 槽底部の排水目皿に糸屑等が詰まりますと排水出来なくなりますので、一週間毎に清掃してください。

注意　・清掃の際、操作スイッチにホース等で水をかけない
・清掃時には電源プラグを抜く

このようなときには

症　　状	原　　因	対　　策
湯温が上がらない場合	電源プラグが入っていない	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	電源スイッチが「入」になっていない	電源スイッチを「入」にしてください。
	サーモスタットの設定が低い	サーモスタットの設定温度を上げてください。
	湯（水）の量が少ない	湯（水）を補給してください。
	漏電ブレーカーが「切」になっている	漏電ブレーカーを「入」にしてください。
漏電ブレーカーが「入」にならない	電気系統の故障	最寄りの弊社営業所までご連絡ください。

・ ご使用中万一故障が発生したら、ただちに作業を中止し、電源を切ってください。

・ 故障の内容が“突然動きがストップしてしまった”と言うケースのときは、ブレーカーは切れていないかを確認してご連絡ください。

機器の保守・点検について

- 本製品については、機器の管理者の方が以下の点検項目にもとづき、必ず始業点検（日常の製品使用前）を実施してください。
- 長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、機器が正常に動作するか十分な点検を行ってください。
- **点検時に異常が発見された場合**は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
- 清掃等の簡単な保守は機器の管理者等によって実施するようお願いいたします。

始業点検項目

区分	点検内容	点検方法
周囲	障害物の有無	目視
本体	カバー及びふたのガタつき、取付ネジの緩み、脱落	目視 及び、ドライバー等による確認
	槽内の汚れまたは、不要物	目視
	槽内の水位	目視
	槽からの水漏れ	目視
	電源ランプの点灯	目視
	タイマーの表示	目視
	キャスターのロック	前後左右に押して浴槽が動かないことを確認
エスパック	エスパックのほつれ、吸水	目視

✸ 定期保守点検契約のお勧め

製品を長期間正常な状態で安全に使用できるように保証期間後の「保守点検契約」の締結をお勧めします。詳しくは「保守点検契約のお勧め」をご覧になるか、弊社最寄りの営業所へお問い合わせください。

保証とアフターサービス

✸ 保証書と保証期間

■ 保証書（別添）はよく読んで大切に保管してください。保証書がないと保証期間中でも代金を請求させていただく場合があります。

■ 保証期間は、正常な使用状態で故障した場合、本体フレームは 5 年間、それ以外は 1 年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

✸ 修理を依頼される場合

■ 修理を依頼されるときは下記のことをお知らせください。

機種名　：　*CL-15*
お買い上げ年月：　　年　　月
故障状況(できるだけ詳細に)
住所，氏名，電話番号

■ メーカーより指示のあるとき以外は、決して開けたり分解しないでください。

✸ 耐用期間

10 年：保守点検などの当社推奨環境で使用された場合

✸ 損耗品

（使用により、磨耗･劣化･変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）

・正常な使用において、交換の目安が**約２年**のもの。
キャスター

・正常な使用において、交換の目安が**約３年**のもの。
温度センサー　/　水位センサー

点検の時期が来ましたら弊社営業所までご用命ください。点検して必要により有償交換いたします。

✸ 保守部品の保有期間

保守用性能部品の保有期間は、販売中止後 10 年です。ただし、性能部品が製造中止などにより入手不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もあります。

仕様

項目		仕様
外径寸法		510(L)×410(W)×860(H)mm
槽内寸法		391(L)×321(W)×339(H)mm
電　　源		AC100Ｖ　50／60 Hz
ケーブル長		3.5m
電源入力		1 kVA
使用温度		80 ℃
材質	槽	SUS316
	カバー	SUS304
ヒーター		1.0 kW
温度調節		サーモスタット
タイマー		週間タイマー
安全装置	空焚き防止用 フロートスイッチ	○
	漏電ブレーカー （電源スイッチ兼用）	○
使用水量		44 ℓ
パック収容量	大	5 枚
	中	10 枚
	小	20 枚
質　量		32 kg
付属品	仕切りカゴ	１個
	引掛金具	２本

■ 本製品はEMC(電磁両立性)規格 JIS T 0601-1-2:2002(CISPR11,Group1,ClassA)に適合しています。

注)都合により予告なく仕様の変更を行う場合があります。

医用電気機器の使用上(安全及び危険防止)の注意事項

●次の注意事項を熟読して、機器を正しく使ってください。

1 機器を取り扱うには、その機器の取扱法，操作を十分に熟知してから、使用してください。

2 機器の設置と保管する場所
① 水のかからない場所に設置，保管してください。
② 気圧，温度，湿度，風通し，日光に留意し、ほこり，塩分，イオウ分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずる恐れのない場所に設置，保管してください。
③ 傾斜，振動，衝撃(運搬時を含む)など安定状態に注意してください。
④ 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に設置，保管しないでください。
⑤ 電源の電圧，周波数，消費電力に注意して設置してください。
⑥ 電池電源の場合には、放電状態，極性などを確認してください。
⑦ 機器を設置するときには、アースを正しく確実に接続してください。
⑧ コンピュータ等に代表される電子回路の機器は、高周波や電磁波などの電気的雑音によって誤作動が起きることがあり、電気的雑音は電源ラインからの混入が多いので、電源コンセントは高周波、電磁波等を発生する機器（マイクロウェーブ等）と同一のラインを使用しないでください。
⑨ 電気的雑音は電波として空中から影響を受けることがあるので、高周波、電磁波等を発生する機器（マイクロウェーブ等）の近く及び静電気の発生し易い場所には設置、保管しないでください。

3 機器を使用する前の準備
① 機器が正常で安定に作動することを確認してください。
② アース線，コード類の接続が正確で、また完全であることを確認してください。
③ 他の機器を併用する場合は、専門家の指示に従ってください。
④ 患者に直接接続する外部回路が正常であることを確認してください。
⑤ 電気的雑音は電波として空中から影響することがあるので、近くに高周波、電磁波等を発生する機器（マイクロウェーブ等）が無いことを確認してください。
⑥ 電子回路の機器は静電気により誤作動が起こることがあり、又、身体には静電気が帯電しやすいので、近くの金属（机・ドアのノブ等）にふれて身体に静電気が帯電していない状態で操作してください。
⑦ 電池電源を確認してください。

4 機器の使用中の注意
① 診断，治療に必要な時間，量は指定以上にならないように注意してください。
② 機器及び患者に異常がないことを絶えず監視し、異常が発見された場合は、直ちに患者が安全であるように機器の作動を止めるなどの適切な措置を講じてください。
③ 機器及び他の電気器具などに患者が触れることのないように、注意してください。

5 機器の使用後の注意
① 定められた手順により操作スイッチ、ダイヤルなどを使用前の状態に戻したのち、電源スイッチを切ってください。
② コード類を取りはずすときは、コードを持って引抜いたりしないで、正しくプラグを持って取りはずしてください。
③ 機器は次回の使用に支障のないように、必ず清浄にしておいてください。

6 故障したときは適切な指示をして、専門家にご連絡ください。

7 機器及び部品は必ず点検を行ってください。

8 機器は絶対に改造しないでください。